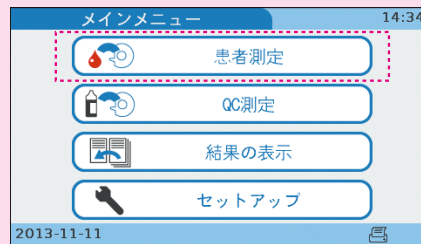


cobas® b 101

〈HbA1cシングル〉測定手順

cobas b 101
HbA1c
測定試薬ディスク測定環境
測定可能温度：15～32℃
測定可能湿度：10～85%

①患者様の手を石鹸で洗い、十分に乾燥させます。



②【患者測定】を選択します。



③HbA1c測定試薬ディスクを袋から取り出した後、ヒンジカバーを完全に開けます。



④アルコール消毒綿で穿刺部位（中指または薬指）の側面を消毒します。



⑤指先の側面をランセットで穿刺します。



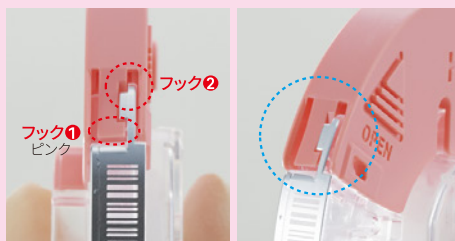
⑥測定に必要な血液2μL以上（ディスク表面参照）を指先に滴状にします。



⑦写真○のようにディスク吸引ポイントから血液をディスクに吸引させます。



⑧ディスクを裏返し、青色で囲まれた領域が血液で完全に満たされたことを確認します。



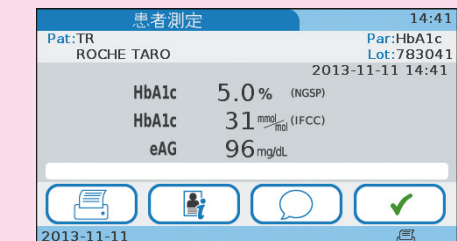
⑨ヒンジカバーが「カチッ」「カチッ」と2度クリック音が発生するまでしっかりと閉じ、フック1がフック2に引っかかっていることを確認します。



⑩【開く】を選択し、装置の蓋を開けます。



⑪ディスクをヒンジカバーの文字面を上にした状態でターンテーブルにセットし蓋を閉めます。なお、蓋が閉めにくい場合は、ディスクが正しくセットできていない可能性がありますのでセットし直してください。



⑫自動的に測定が開始され、約6分後に測定結果が表示されます。

手順⑦で血液が吸引ポイント以外に付着したり、手順⑨でヒンジカバーを「カチッ」「カチッ」と2度クリック音が発生するまでしっかりと閉じないと、測定が正しく行われないだけでなく、装置内部に血液が飛散し、汚染や故障の原因となります場合がありますので、ご注意ください！

〈脂質シングル〉を確認する場合

この面(HbA1cシングル)測定手順[A1]を裏側に折り返してください。

〈デュアル〉を確認する場合

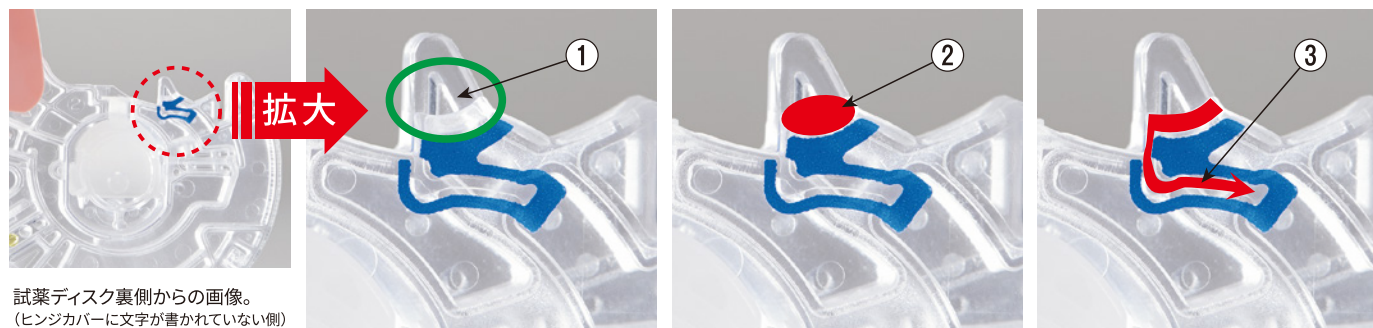
この面(HbA1cシングル)測定手順[A1]を裏側に折り返し、続けて表面〈脂質シングル〉測定手順[B1]を裏側に折り返してください。

cobas® b 101 〈HbA1cシングル〉測定時の注意事項

- ◆ 試薬ディスクを**冷蔵庫**に保管していた場合は、気温+15~+32°Cの環境にアルミパウチに入れた状態で**20分以上**置いてから測定に使用してください。
- ◆ アルミパウチは**使用直前**に開封してください(開封後は**20分以内**に使用してください)。
- ◆ 検体は指先の毛細管全血、及びヘパリンLi、またはEDTA-2K、EDTA-3K添加静脈全血を使用できます。
- ◆ 試薬ディスクに血液を吸引させた後は、ヒンジカバーをしっかりと閉じ、**60秒以内**に機器にセットしてください。
- ◆ 冬の朝など装置内部温度と室温に温度差がある場合、温度エラーが発生する可能性がありますので、**測定30分前**には装置の電源を入れてください。

cobas® b 101 試薬ディスク ディスク吸引ポイント

- 試薬ディスク裏側の**緑の円弧**(図中①:説明用のマークですので実際のディスクにはありません)部分が血液の吸引ポイントです。
- 穿刺した指上の血液(図中②:赤色)の上に吸引ポイント①を軽く上から押し当てると毛細管現象により血液が試薬ディスク内に吸引されます。



(注): 血液が吸引される経路を赤矢印(図中③)で示しています。

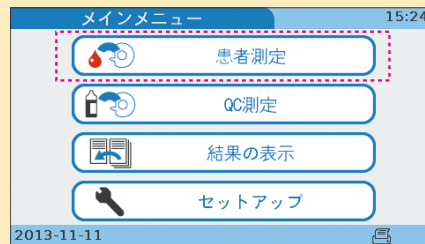
〈脂質シングル〉を確認する場合	裏面〈HbA1c シングル〉測定手順【A1】を手前に折り返してください。
〈デュアル〉を確認する場合	裏面〈HbA1c シングル〉測定手順【A1】を手前に折り返し、続けて裏面〈脂質シングル〉測定手順【B1】を手前に折り返してください。

cobas® b 101

〈脂質シングル〉測定手順

cobas b 101
脂質
測定試薬ディスク測定環境
測定可能温度：15～32℃
測定可能湿度：10～85%

①患者様の手を石鹸で洗い、十分に乾燥させます。



②【患者測定】を選択します。



③脂質測定試薬ディスクを袋から取り出した後、ヒンジカバーを完全に開けます。



④アルコール消毒綿で穿刺部位（中指または薬指）の側面を消毒します。



⑤指先の側面をランセットで穿刺します。



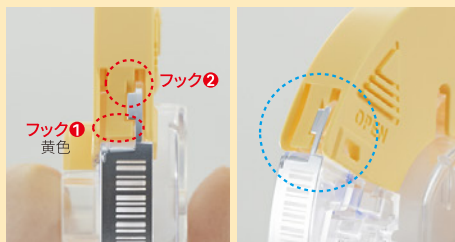
⑥測定に必要な血液19μL以上（ディスク表面参照）を指先に滴状にします。



⑦写真○のようにディスク吸引ポイントから血液をディスクに吸引させます。



⑧ディスクを裏返し、青色で囲まれた領域が血液で完全に満たされたことを確認します。



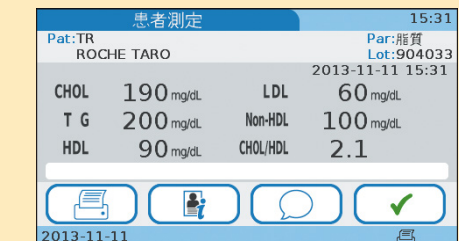
⑨ヒンジカバーが「カチッ」「カチッ」と2度クリック音が発生するまでしっかりと閉じ、フック1がフック2に引っかかっていることを確認します。



⑩【開く】を選択し、装置の蓋を開けます。



⑪ディスクをヒンジカバーの文字面を上にした状態でターンテーブルにセットし蓋を閉めます。なお、蓋が閉めにくい場合は、ディスクが正しくセットできていない可能性がありますのでセットし直してください。



⑫自動的に測定が開始され、約6分後に測定結果が表示されます。

手順⑦で血液が吸引ポイント以外に付着したり、手順⑨でヒンジカバーを「カチッ」「カチッ」と2度クリック音が発生するまでしっかりと閉じないと、測定が正しく行われないだけでなく、装置内部に血液が飛散し、汚染や故障の原因となる場合がありますので、ご注意ください！

〈HbA1c シングル〉を確認する場合

裏面〈脂質シングル〉測定時の注意事項【B2】を手前に折り返してください。

〈デュアル〉を確認する場合

この面〈脂質シングル〉測定手順【B1】を裏側に折り返してください。

cobas® b 101 〈脂質シングル〉測定時の注意事項

- ◆ 試薬ディスクを**冷蔵庫**に保管していた場合は、気温+15～+32°Cの環境にアルミパウチに入れた状態で**20分以上**置いてから測定に使用してください。
- ◆ アルミパウチは**使用直前**に開封してください(開封後は**20分以内**に使用してください)。
- ◆ 検体は指先の毛細管全血、及びEDTA-2K、またはEDTA-3K添加静脈全血、静脈血漿を使用できます。
- ◆ 石鹸で丁寧に指を洗い、脂質性物質を取り除いてください。
グリセリン未含有の石鹸(ミューズ®等)にて手洗い(1分程度) ⇒ すすぎ(30秒程度) ⇒ アルコール洗浄(IPA、エタノールいずれか)
ハンドクリームや一部の石鹸などには脂質性物質であるグリセロールが含まれるため、残留していると**トリグリセライドの偽高値**を引き起こす場合があります。
- ◆ 指先から穿刺を行う場合は、必要な検体量(19μL)を確実に採取できるゲージ23、穿刺深度1.2mm(セーフティプロプラス等)程度の単回使用ランセットを使用してください。また、穿刺前に手や指をあらかじめ温めておくと血液が採取しやすくなります。
- ◆ 試薬ディスクに血液を吸引させる時は、指上の**血液凝固を防ぐために手早くディスクに吸引**させるようにしてください。
- ◆ 試薬ディスクに血液を吸引させた後は、ヒンジカバーをしっかり閉じ、**8分以内**に機器にセットしてください。
- ◆ 冬の朝など装置内部温度と室温に温度差がある場合、温度エラーが発生する可能性がありますので、**測定30分前**には装置の電源を入れてください。
- ◆ 試薬ディスクの吸引ポイントに関しては、〈HbA1シングル〉測定手順裏面〈cobas® b 101 試薬ディスク ディスク吸引ポイント〉を参照してください。

〈HbA1c シングル〉を確認する場合 この面〈脂質シングル〉測定時の注意事項【B2】を裏側に折り返してください。

〈デュアル〉を確認する場合 裏面〈脂質シングル〉測定手順【B1】を手前に折り返してください。

cobas® b 101 <デュアル>測定手順①

cobas b 101
HbA1c
測定試薬ディスク



cobas b 101
脂質
測定試薬ディスク



測定環境
測定可能温度：15～32℃
測定可能湿度：10～85%

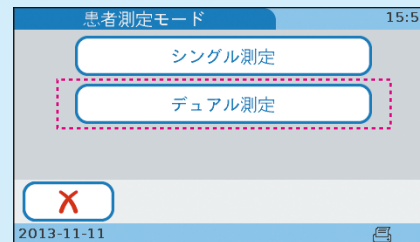
C1



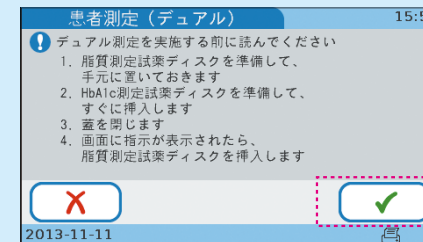
①患者様の手を石鹸で洗い、十分に乾燥させます。



②【患者測定】を選択します。



③【デュアル測定】を選択します。



④画面上の指示をしっかりと読み、✓を選択します。



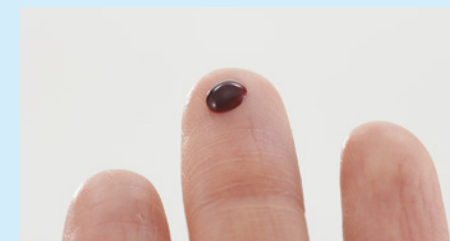
⑤脂質測定試薬ディスクを袋から取り出した後、ヒンジカバーを完全に開けます。



⑥アルコール消毒綿で穿刺部位(中指または薬指)の側面を消毒します。



⑦指先の側面をランセットで穿刺します。



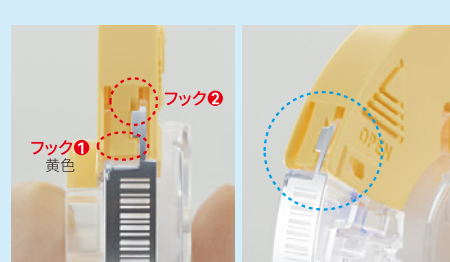
⑧測定に必要な血液(脂質用19μL+HbA1c用2μL=合計21μL以上)を指先に滴状にします。



⑨写真(○)のようにディスク吸引ポイントから血液をディスクに吸引させます。



⑩ディスクを裏返し、青色で囲まれた領域が血液で完全に満たされたことを確認します。



⑪ヒンジカバーが「カチッ」「カチッ」と2度クリック音が発生するまでしっかりと閉じ、フック1がフック2に引っかかっていることを確認します。



血液吸引後の脂質測定試薬ディスクをそばに置いておきます。

手順⑨で血液が吸引ポイント以外に付着したり、手順⑪でヒンジカバーを「カチッ」「カチッ」と2度クリック音が発生するまでしっかりと閉じないと、測定が正しく行われただけでなく、装置内部に血液が飛散し、汚染や故障の原因となる場合がありますので、ご注意ください!

〈脂質シングル〉を確認する場合 裏面<デュアル>測定手順②【C2】を手前に折り返してください。
〈HbA1cシングル〉を確認する場合 裏面<デュアル>測定手順②【C2】を手前に折り返し、続けて裏面<脂質シングル>測定時の注意事項【B2】を手前に折り返してください。

cobas® b 101 <デュアル>測定手順②

脂質測定、HbA1c測定における注意事項はA2/B2を参照してください。

表面からの続き



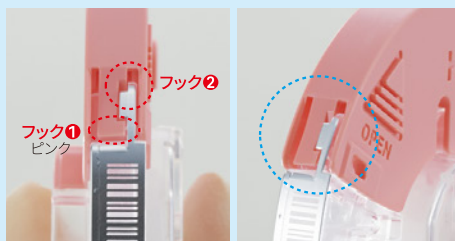
⑫HbA1c測定試薬ディスクを袋から取り出した後、ヒンジカバーを完全に開けます。



⑬写真(O)のようにディスク吸引ポイントから血液をディスクに吸引させます。



⑭ディスクを裏返し、青色で囲まれた領域が血液で完全に満たされたことを確認します。



⑮ヒンジカバーが「カチッ」「カチッ」と2度クリック音が発生するまでしっかりと閉じ、フック1がフック2に引っかかっていることを確認します。



⑯【開く】を選択し、装置の蓋を開けます。



⑰HbA1c測定試薬ディスクをヒンジカバーの文字面を上にした状態でターンテーブルにセットし蓋を閉めます。なお、蓋が閉めにくい場合は、ディスクが正しくセットできていない可能性がありますのでセットし直してください。



⑱「HbA1cの測定が完了しました」というメッセージが表示されたら、装置の蓋を開け、HbA1c測定試薬ディスクを取り出します。



⑲HbA1c測定後、1分以内に脂質測定試薬ディスクをヒンジカバーの文字面を上にした状態でターンテーブルにセットし蓋を閉めます。この時手順⑰同様にディスクは正しくセットしてください。



⑳HbA1c測定と脂質測定の結果が同時に表示されます。

- ◆石鹸で丁寧に指を洗い、脂溶性物質を取り除いてください。ハンドクリームや一部の石鹸などには脂溶性物質であるグリセロールが含まれるため、残留しているとトリグリセライドの偽高値を引き起こす場合があります。
- ◆デュアル測定には、必要な検体量(21μL以上)を確実に採取できるゲージ23、穿刺深度1.2mm(セーフティプラス等)程度の単回使用ランセットを使用してください。また、穿刺前に手や指をあらかじめ温めておくことで血液が採取しやすくなります。
- ◆試薬ディスクに血液を吸引させる時は、指上の血液凝固を防ぐために手早くディスクに吸引させるようにしてください。
- ◆冬の朝など装置内部温度と室温に温度差がある場合、温度エラーが発生する可能性がありますので、測定30分前には装置の電源を入れてください。

手順⑬で血液が吸引ポイント以外に付着したり、手順⑮でヒンジカバーを「カチッ」「カチッ」と2度クリック音が発生するまでしっかりと閉じないと、測定が正しく行われなだけでなく、装置内部に血液が飛散し、汚染や故障の原因となります場合がありますので、ご注意ください!

〔脂質シングル〕を確認する場合 この面<デュアル>測定手順②[C2]を裏側に折り返してください。

〔HbA1cシングル〕を確認する場合 この面<デュアル>測定手順②[C2]を裏側に折り返し、続けて表面<脂質シングル>測定時の注意事項[B2]を裏側に折り返してください。